

情報基礎実習 第 4 回

2015 年 5 月 14 日 (木)、5 月 15 日 (金)

担当教員：逸村裕、小泉公乃

TF：池田光雪

1. 本日の主な作業

第 2 回の実習では広大な Web 上からいかに効率よくデータや情報を引き出すかを学んだ。しかし Web の歴史は数十年でしかなく、人類が積み上げてきた歴史に比べればほんの一部でしかない。すなわち、**Web にある情報がすべてではない。**

今回は、Web 以外の情報源として最も一般的である図書と雑誌をいかに探すか、またそれらをいかに記述するかを扱う。一口に情報源を記述すると言っても、情報源によって記述すべき書誌要素は媒体によって異なり、また書き方そのものも複数存在する。本実習では SIST02 を扱うが、各媒体においてなぜそれらの書誌要素を記述する必要があるのかを意識しながら取り組むこと。

- 筑波大学附属図書館 Web サイトを使う (Tulips)
- CiNii Books や国立国会図書館サーチといったシステムやサービスを使う
- 情報源の記述の仕方を学ぶ (SIST02)

2. 復習

~~—この PDF 文書には印刷禁止設定を掛けている。第 1 回実習の内容を活かしこの文書からセキュリティ設定を解除し、印刷せよ。方法の概要は次の通り。~~

~~(1) <http://klis.tsukuba.ac.jp/jk15/> から第 4 回のテキスト (2015_04.pdf) をダウンロードする~~

~~(2) Adobe Acrobat を用いてセキュリティ設定を解除する。パスワードは klis15 である~~
修正版につき印刷禁止設定は削除済み

【出席課題】

- (1) 出席課題 1~7 を各自で進め、Lab2015.docx に各回答を記せ
 - 課題名は 第 4 回出席課題 とせよ
- (2) 1 ページ/枚で A4 片面印刷し、**10:10 までに**提出せよ。すべて終わらせなくてもよいので提出は必ず期限内にすること

【出席課題 1】

図書と雑誌について、それぞれの定義及び英語では何と呼ぶかを記せ。

【出席課題 2】

図書館情報学において、アクセスポイントとは一般に何を意味するかを述べよ。

【出席課題 3】

Tulips で逸村裕が著者の図書を探し、SIST02 形式で書誌を作れ。

【出席課題 4】

- (1) 逸村裕, 竹内比呂也. 変わりゆく大学図書館. 東京, 勁草書房, 2005, 232p. の ISBN を記せ
- (2) (1)の図書をそれぞれ単独で発見可能なアクセスポイントの名称をすべて答えよ

【出席課題 5】

- (1) Google で逸村裕が著者の図書を探し、SIST02 形式で書誌を作れ
- (2) (1)と出席課題 3 の結果を比較し、考察せよ

【出席課題 6】

- (1) 次に示す(A)~(G)のシステムやサービスを用いて逸村裕が著者の図書を探し、SIST02 形式で網羅的な書誌を作れ
 - (A) e-hon
 - (B) Books.or.jp
 - (C) Honya Club
 - (D) Amazon.co.jp
 - (E) Tulips
 - (F) CiNii Books
 - (G) 国立国会図書館サーチ
- (2) (1)で作成した書誌内の図書それぞれについて、上記(A)~(G)の手法で発見ができたかをまとめよ。なお、(1)と(2)は項目を分けず、表などにまとめて回答してもよい

【出席課題 7】

雑誌『NLL review』を所蔵している大学図書館数とその正式名称、及びその最新の継続後誌（現在も刊行されている雑誌）を現在も継続して所蔵している館名を列記せよ。

今回のレポート課題

- 締め切り
 - 木曜クラス : 5月20日(水) 15:00
 - 金曜クラス : 5月21日(木) 15:00
- 内容
 - 演習 1~8 への回答を記せ

- **提出先**
春日エリア 7B 棟 2 階 図書館情報エリア支援室学群学務前のレポートボックス
- **書式**
Lab2015.docx を適宜書き換えて使用し、1 ページ/枚で A4 片面印刷。複数枚になる場合はステイプラー（針無しは不可）で左上 1 箇所を綴じよ
- **備考**
 - これまでのテキストや演習中、返却したレポート内などで指示・指摘された細かいレポート書式（ページ番号の付与や使用フォントなど）は全て遵守すること。既に周知した書式を満足していなかった場合は減点の対象とする
 - 締め切りを超過した場合、最大で未提出扱いとする大幅な減点を行う
 - 提出先を誤った結果として教員の手元に届くのが遅れた場合、締め切りを超過した場合と同等の扱いとする
 - レポート中のあらゆる箇所において手書きは不可とする
 - 提出後におけるいかなるレポートの差し替えも認めない
 - 課題名はふさわしいものを各自で考案し記述せよ
 - 書誌を作れ、または書誌データを記せというような設問では、必ず SIST02 形式で記述せよ

【演習 1】

次の 3 名から 1 名を選び、その人物が著者の、出版年が 2004 年以降の図書（編者や翻訳者は除き、編著を含む）の網羅的な書誌を作れ。ただし、下記(1)～(6)の順で取り組むこと。また、著者が複数人の場合は「上田修一ほか」のように省略せず、全員を列記せよ。

- 上田修一（立教大学）
 - 根本彰（慶應義塾大学）
 - 緑川信之（筑波大学）
- (1) 選んだ人物は誰か答えよ
 - (2) どのような手順で探索するか、探索前の時点で思いつく手順を詳細に記せ
 - (3) 選んだ人物が著者の、出版年が 2004 年以降の図書（編者や翻訳者の場合は除き、編著を含む）の網羅的な書誌を作成せよ
 - (4) (3)で作成した書誌内の図書それぞれについて、Amazon.co.jp(マーケットプレイスを含む)、e-hon それぞれにデータが存在するかどうか、存在する場合はレポート執筆時点で購入が可能かどうかを記せ。なお、(3)、(4)、(5)は項目を分けず、表などにまとめて記述してもよい
 - (5) (3)で作成した書誌内の図書それぞれについて筑波大学が所蔵しているかどうかを調べ、もし所蔵しているならばその所蔵館と請求記号を記せ。複数館が所蔵している場合は全ての館について記述せよ

- (6) 網羅的な書誌作成にあたり、実際に取った手順を記せ。また、もし(2)では書いてあるが実際には行わなかった手法、または途中で思いついて実行した他の手法があればなぜそうしたかの理由も合わせて述べよ

【演習 2】

雑誌『The Serials librarian : the quarterly journal of serials management』を現在も継続して所蔵している全大学図書館の正式名称を列記せよ。

【演習 3】

1970 年から 2000 年まで刊行されていた雑誌『Journal of the American Society for Information Science』の継続前誌名と、その最新の継続後誌（現在も刊行されている雑誌）の誌名を記せ。

【演習 4】

出席課題 4 (2)の回答を記せ。

【演習 5】

出席課題 5 (2)の回答を記せ。

【演習 6】

自身の学籍番号を確認し、(0)～(9)のうち対応した設問に答えよ。

これらの問題は図書館（図書館情報学図書館、あるいは中央図書館）に行き実際に図書を手に取らないと回答することができないが、本実習受講者は館内利用のみでこれらの設問に取り組み、内容に興味を惹かれても 5 月中は借りないこと。また館内利用をする場合は利用が終わり次第すみやかに元の棚に戻し、一度に複数の図書を占有することは避けよ。

万が一課題に必要な図書が貸し出し中などで利用できない場合は、そのことを明記した上で別の設問から好きなものを選択し、回答しても構わない。なお、余力があれば自身に対応した設問に取り組んだ上で別の設問に取り組んでも構わない（不備が無かった場合は加点対象とする）。

(0) 学籍番号末尾が 0 の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の 1980、1990、2010 年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学 1 校の図書総冊数、前年度資料費、ILL 実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2010 年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) ハリス、マイケル H. 図書館の社会理論. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 p.138 で取り上げられている「図書館学の古典」の書誌データを記せ

- (E) (C)の図書 p.137 から始まる解説の著者が、(D)の直系の弟子とされる人物の論述に対し欠けていると考えていることとその理由をわかりやすくまとめよ

(1) 学籍番号末尾が1の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1991、2001、2011年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2011年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 原田勝. 未来の図書館. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 p.6 で取り上げられている「われわれの考えること」の著者名と原題を記せ
- (E) 「われわれの考えること」で提案されている未来の装置について、その装置の名前を答え、その機能を(C)の図書 p.6—9 の内容を参考にしてまとめよ

(2) 学籍番号末尾が2の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1992、2002、2012年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2012年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 図書館・情報学概論. 第2版, 1990. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 p.51 で説明されているlawについて、書かれている日本語訳を記せ
- (E) (C)の図書 p.166—169 で述べられている、研究者が利用する資料についての記述をまとめよ

(3) 学籍番号末尾が3の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1993、2003、2013年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2013年版に掲載されているデータと、同大学図書館がWeb上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 電子図書館. 岩波書店, 1994. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 第7章のタイトルを記せ

- (E) (C)の図書 第7章の内容について、この本が1994年に出版されたということを考慮しつつ、その内容を2015年の現状と知っている、または調べた範囲と照らし合わせた考察を記せ

(4) 学籍番号末尾が4の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1984、1994、2004年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2004年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 情報研究への道. 勁草書房, 1989. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 p.27 で「アレキサンドリア図書館の時代以来に記録された知識」について、ケネス・ボールディングは「人類の冒険の“何”』』と言っているかを記せ
- (E) (C)の図書 p.27 以降で述べられている「図書館学の二つの流れ」とは何かをわかりやすくまとめよ

(5) 学籍番号末尾が5の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1985、1995、2005年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2005年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 緑川信之. 情報検索演習. 新訂, 2004. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 第3章のタイトルとその著者名を記せ
- (E) (C)の図書 第3章1節で挙げられている6つのシステムについて次の4点をまとめよ。なお、筑波大学が契約しているシステムの一覧は筑波大学附属図書館 Web サイトから「利用案内」—「調べる・探す」—「データベース一覧」と順に選択することで閲覧できる
- (ア) 2015年現在でも同名称のシステムが存在するかどうか
- (イ) (ア)に該当しないシステムのうち、名称変更や統廃合などで流れをくみつつも現在も運営されている別のシステムがあるのであればその名称
- (ウ) (ア)、(イ)で挙げた現在も稼働しているシステムそれぞれについて無料公開しているかどうか、また有料だが筑波大学が契約しているかどうか
- (エ) (ウ) でわかった筑波大学から利用できるシステムのうち複数を実際に利用したコメント

(6) 学籍番号末尾が6の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1986、1996、2006年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2006年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 根本彰. 続・情報基盤としての図書館. 2004. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 p.51 で述べられている「現代公共図書館論のマニフェスト」の書誌データを記せ
- (E) (C)の図書 p.52 から始まる、ある調査への根本の検討を簡潔にまとめよ

(7) 学籍番号末尾が7の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1987、1997、2007年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2007年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 目録の歴史. 勁草書房, 1985. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書4章3節1項のタイトルを記せ
- (E) (D)の事柄の一般原則全三項をわかりやすくまとめよ

(8) 学籍番号末尾が8の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1988、1998、2008年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ
- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2008年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 三田図書館・情報学会編. 図書館・情報学研究入門. 2005. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書 p.25 から始まる記事のタイトルと著者名を記せ
- (E) (C)の図書 p.25 から始まる記事の内容を簡潔にまとめよ

(9) 学籍番号末尾が9の学生

- (A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1989、1999、2009年版における筑波大学（全館の合計）と、任意の別大学1校の図書総冊数、前年度資料費、ILL実績などのデータを記せ

- (B) (A)で調べた『日本の図書館：統計と名簿』2009年版に掲載されているデータと、同大学図書館がネット上で公開している同時期のデータを掲載した文書等を見つけ、その内容を比較し、考察せよ
- (C) 図書館・情報学のための調査研究法. 勁草書房, 1986. の書誌データを記せ
- (D) (C)の図書の著者を全て列記せよ
- (E) 第3回実習演習3で作成した表とグラフをそのまま転記せよ。その上で、(C)の図書 p.139—151 で述べられている表とグラフを作成する際の一般的な注意点を踏まえ同じデータを使って別の表とグラフを作成せよ。また、作成した表、グラフについて気が付いたことや考えたことなどを述べよ

【演習7】

このレポートに取り組んだ感想及びコメント、またもしあれば質問や今後の授業への要望を記せ。なお、回答を希望する質問や要望を記述する場合にはその先頭に【回答希望】と記すこと。その場合、匿名化して次回以降の授業中で全体に向け回答する。また【回答希望】と書かれなかった感想や質問、要望等についても必要に応じて適宜取り上げることがある。

【演習8】

このレポート作成に要した総時間を記せ。この時間は授業時間外に取り組んだ時間の合計とし、その長短は成績評価に一切影響しない。